3　鳥取県内における感染症集団発生件数

鳥取県内における感染症集団発生件数（表 13 参照）

令和 3 年の鳥取県での感染症集団発生は、感染性胃腸炎 65 件、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1 件、ＲＳウイルス感染症 53 件、手足口病 5 件、ヘルパンギーナ 3 件、水痘 1 件の報告があった。このうち、ＲＳウイルス感染症は前年の 1 件に比べ 53 件と大幅に増加した。

1,401 件（過去 5 年平均比 217%）と増加に転じた小児科定点報告数は、25 週から増加し始め、35 週にピーク（P9 図 1 参照）を迎えており、集団発生件数も同様の傾向が見られた。また、感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが 60 件、その他（原因不明も含む）が 5 件であった。

インフルエンザによる臨時休業及び集団発生はなかった。新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、その感染対策が県民に浸透したことによるものと考えられる。

表 13　鳥取県内における感染症集団発生件数

令和3年12月31日 現在
※（　）は前年数値

疾患名		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		計	
1. 感染性胃腸炎			(6)	2	(7)	2	(4)	12	(2)	6		12		3	(1)	2		1		3		15		7		65	(20)
再掲	ノロウイルス		(6)	2	(6)	2	(4)	8	(1)	6		12		3		2				3		15		7		60	(17)
再掲	ロタウイルス																									0	(0)
再掲	サポウイルス																									0	(0)
再掲	その他(原因不明も含む)				(1)			4	(1)						(1)			1								5	(3)
2. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			(1)											1												1	(1)
3. RSウイルス感染症							(1)					2		3		24		23		1						53	(1)
4. 咽頭結膜熱																										0	(0)
5. 手足口病																	(1)				(1)	1		4		5	(2)
6. ヘルパンギーナ																				3			(1)			3	(1)
7. 水痘							(1)		(1)														(1)	1		1	(3)
8. 流行性角結膜炎																										0	(0)
9. インフルエンザ	臨時休業		(34)		(18)																					0	(52)
	集団発生		(35)		(5)		(2)																			0	(42)